

〔算数〕 小1 組 番号 名前

1 (1) まえから 3ぼんめ

(2) みぎから 4こまで

(3) えんぴつは みぎから なんばんめ

2

あといくつで 6になるかを かんがえましょ う。

ずに なんにも かいていなくても、しき、こたえが あっていれば せいかい です。

3 (1)

【ず】 ●●●●● ← ●●

(れい) はじめに 5だい 2だい くと

しき $5 + 2$ こたえ 7だい

ずに なんにも かいていなくても、しき、こたえが あっていれば せいかい です。

(2)

【ず】 ●●●● → ← ●●●●●●●●

(れい) ももいろの はなが 4ほん みずいろの はなが 6ぽん

しき $4 + 6$ こたえ 10ぽん

〔算数〕 小2 組 番号

1 (1)

$$\begin{array}{r} 64 \\ - 12 \\ \hline 52 \end{array}$$

(2)

$$\begin{array}{r} 36 \\ - 16 \\ \hline 20 \end{array}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 82 \\ - 50 \\ \hline 32 \end{array}$$

(4)

$$\begin{array}{r} \cancel{6}4 \\ - 33 \\ \hline 37 \end{array}$$

- ① 一のくらの計算 (けいさん) を します。
0から3は ひけないので、十のくらから 1くり下げて
 $10 - 3 = 7$
- ② 十のくらの計算 (けいさん) を します。

2

①、③

- ②は、十のくらの計算 (けいさん) で、くり下がりの 1 を 考えずに 計算しているのだから まちがいです。
④は、一のくらの計算 (けいさん) で、 $10 - 3 = 7$ と 計算しているのだから まちがいです。

3

(れい1)

15円の あめと 32円の カステラを かいます。
だいたいは いくら になりますか。

(れい2)

いろがみを 15まい もっています。あとから 32まい かいました。
いろがみは、ぜんぶで 何まいに なりましたか。

4

えんぴつ が 3本 多い。

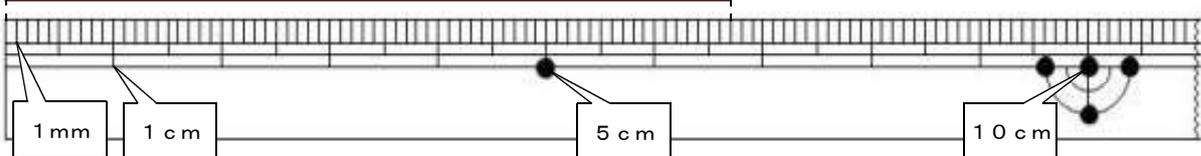
5

ア 6 cm 7 mm

イ 1 cm 8 mm

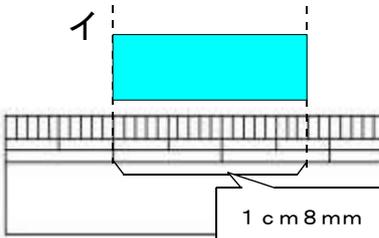
ウ 3 cm 2 mm

ア

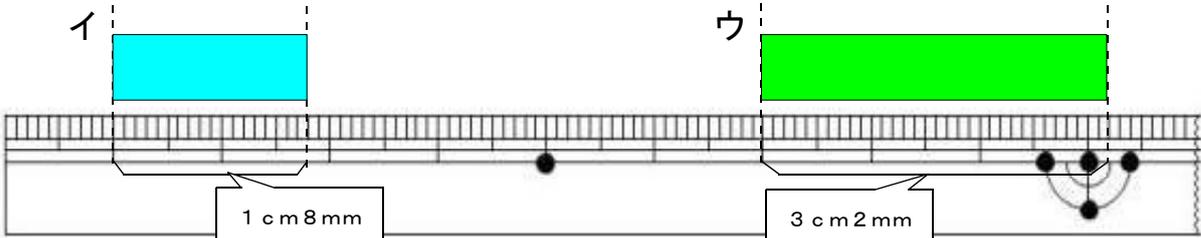


ものさしの めもりを 正しく 読めるように しましょう。

イ



ウ



[算数] 小3 組 番 氏名

1 (1)

ウ

(2)

ア

(3)

イ

2 (1)

300

(2)

ウ

たけしさんが510円出したときのおつりは300円で、もらうこう貨(か)は100円玉が3枚になります。500円出したときのおつりは290円で、100円玉2まい、50円玉1まい、10円玉4まいとなり、510円出したときの方が、まい数としゆるいが少なくなります。

3

まちがいの説明

正しい筆算

(れい)

一の位(くらい)は $2-3$ で、2から3はひけないので、十の位(くらい)から1くり下げると

十の位(くらい)は4になります。
十の位(くらい)の計算を1くり下げずに計算し、
 $5-4=1$
になっているのでまちがいです。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 1 \cancel{5} 2 \\ - \quad 43 \\ \hline 109 \end{array}$$

十の位(くらい)の計算で、一の位(くらい)へ1くり下げていることをわすれて計算していることが説明(せつめい)できていれば正かいです。

十の位(くらい)は、一の位(くらい)に1くり下げたので、4から4をひいて0になります。

4 (1)

イ、オ

アは、1ふくろ8こ入りのあめが2ふくろあるので、式は 8×2 になります。
ウは、8まいのクッキーのうち2まい食べたので、式は $8 - 2$ になります。
エは、1人に2こずつのチョコレートを8人にくばるので、式は 2×8 になります。

(2)

(れい1)

あめが12こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人ぶんは何こになるでしょうか。

(れい2)

12mのテープを3mずつ切ると、3mのテープは何本できるでしょうか。

〔算数〕小4 組 番 氏名

1 (1)

太郎さんの説明

まず、わられる数の百の位の6をわる数の $\boxed{3}$ でわります。

$6 \div 3 = \boxed{2}$ なので、百の位に $\boxed{2}$ をたてます。

次に、わられる数の十の位の $\boxed{2}$ をおろします。

$2 \div 3$ はできないので、十の位に $\boxed{0}$ をたてます。

そして、わられる数の一の位の $\boxed{7}$ をおろします。

$\boxed{27} \div 3 = 9$ なので、一の位に9をたてます。

わる数の3とたてた9をかけて27になります。

さいごに、 $\boxed{27}$ から27をひくと0になります。

だから、商は $\boxed{209}$ です。

(すべてできて正解)

(2)

せつめい
(説明)

あまりの11がわる数の8よりも大きいので、まちがいです。
商の一のくらは7ではなく、8をたてます。

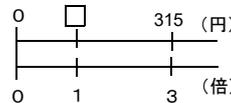
(筆算の答え)

78あまり3

2

式

$$\boxed{315} \div 3$$



$$\begin{array}{r} 105 \\ 3 \overline{) 315} \\ \underline{3} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

答え

$\boxed{105}$ 円

$$\begin{array}{l} \square \times 3 = 315 \\ \square = 315 \div 3 \end{array}$$

3

$\boxed{2}$

親のラッコの体重は、子どものラッコの体重の3倍です。

4

(1)

$\boxed{2}$ 月から $\boxed{3}$ 月までの間

折れ線グラフでは、線のかたむきが急なほど、変化が大きくなります。

(2)

$\boxed{23}$ 度

一番高いのは8月の26度で、一番低いのは2月の3度なので、差は、 $26 - 3 = 23$ で、23度となります。

〔算数〕小5 組 番 氏名

1

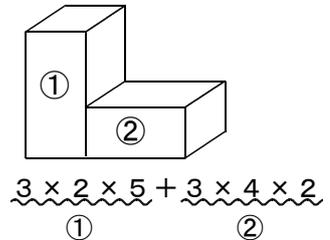
210cm³

直方体の体積は、たての長さ（5cm）、横の長さ（7cm）、高さ（6cm）を使って求めることができます。
（例） $5 \times 7 \times 6$

2

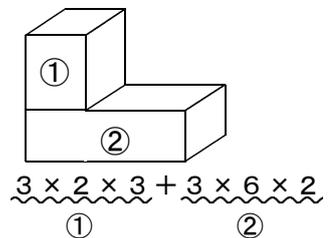
（解答例1）

$3 \times 2 \times 5 + 3 \times 4 \times 2$
または
 $3 \times 4 \times 2 + 3 \times 2 \times 5$



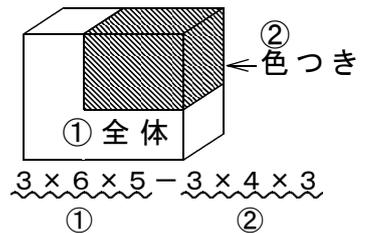
（解答例2）

$3 \times 2 \times 3 + 3 \times 6 \times 2$
または
 $3 \times 6 \times 2 + 3 \times 2 \times 3$



（解答例3）

$3 \times 6 \times 5 - 3 \times 4 \times 3$



3

(1)

24.6

小数や整数を100倍すると、位は2けた上がるので、小数点の位置は、右に2けたうつります。不要な0を消して、24.6となります。

(2)

5

4

(1)

9.541

(2)

4.951

「4.951」と5との差は0.049、「5.149」と5との差は0.149なので、5にいちばん近い数は、「4.951」になります。

5

(1)

エ

(2)

ア

4 $\frac{2}{3} \times \frac{1}{5}$ の計算の仕方を、次のように説明しました。

【説明】

かける数を整数にして考えました。まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{5}$ を5倍しました。

$$\frac{1}{5} \times 5 = 1 \text{ なので、} \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \text{ となります。}$$

このままでは、積も5倍になるので、積を5でわって、 $\frac{2}{3} \div 5 = \frac{2}{15}$ となります。だから、答えは $\frac{2}{15}$ です。

この説明に合う考え方を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

【考え方】

ア

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \leftarrow \end{array} \right\} \div 5$$

イ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array}$$

ウ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \leftarrow \end{array} \right\} \div 5$$

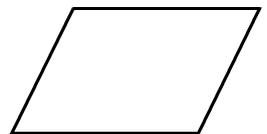
エ

$$\begin{array}{l} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \div 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \leftarrow \end{array} \right\} \div 5$$

5 右の図のような平行四辺形の対称^{たいしょう}の中心の見つけ方を、次のように説明しました。

【説明】

平行四辺形の2本の対角線を引き、交わった^{たいしょう}ところが対称^{たいしょう}の中心です。



この説明の理由となる性質を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称^{たいしょう}の軸と垂直^{じく すいちよく}に交わります。
- イ 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称^{たいしょう}の中心を通ります。
- ウ 対称^{たいしょう}の軸と交わる点から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。
- エ 向かい合った辺の長さは等しくなっています。

〔算数〕小6 組 番 氏名

1

$$\frac{9}{7}$$

2

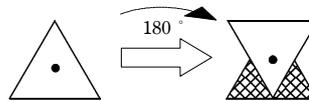
(1)

1、3、4

(2)

2、4

1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形にぴったり重なる図形を、
点対称な図形といいます。



※正三角形を1つの点を中心にして、180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。

3

(1)

$$x \times 8 + 3 = y$$

$$(8 \times x + 3 = y)$$

(2)

①

ウ

②

イ

－や÷の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

4

ア

説明にそって式と比べながら考えることが大切です。

5

イ

平行四辺形の対角線は、対応する2つの点を結ぶ直線なので「対応する2つの点を結ぶ直線是对称の中心を通ること」を理由に、対称の中心が見つけれられる理由を説明することができます。